

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

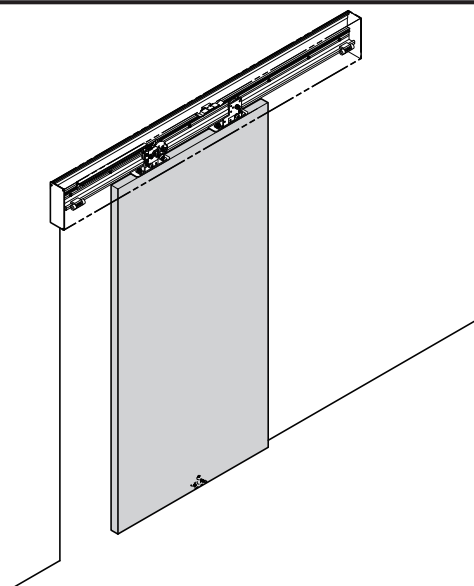
- 洗面所や診察室の出入口など、自動閉止させたい扉用の金物です。
- ワンウェイクラッチ機構の制動装置（ダンパー）付きで、扉がソフトに閉じます。
- レールを傾斜させた方式のため、電気を使用せず自動閉止できます。
- 扉を全開したままにできるキャッチ付きです。
- 部品の組み替えで右開き・左開きどちらでも使用できます。

仕様

	ソリッドメラミン材扉	木扉
扉厚	13 mm	28 ~ 40 mm※ ¹
扉質量	30 ~ 80 kg（扉1枚当たり）※ ²	
扉幅	700~1200 mm	
最大ストローク	1100 mm（扉幅1200 mm）	
閉駆動方式	レール傾斜（3.5/300）	
制動方式	流体摩擦抵抗型	
制動時間	7 ~ 11 秒（ストローク900 mm時）	
初動操作力	5.4 ~ 12.5 N	
使用温度範囲	-10℃ ~ +40℃	

※¹ 扉厚が32 mmを超える場合、扉がカバーに擦るため、別途幕板をご用意ください。

※² 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。



もくじ

本製品について、仕様、もくじ、正しく安全に取り付けていただくために	P.1
部品一覧	P.2
寸法図	P.3

施工手順

1. 上レールの切断・取付穴の追加加工	P.4	9. 扉の吊込み	P.6
2. カバーと裏板の切断(使用する場合)	P.4	10. 脱落防止ねじの取付け	P.6
3. フレートナットの挿入・制動ラックセットの取付け	P.4	11. 戸当りの取付け	P.7
4. ハンガーの取付け	P.5	12. 制動装置の取付け	P.7
5. 上レール取付面への穴加工	P.5	13. 全開時キャッチの取付け	P.8
6. 上レールの取付け	P.6	14. 開閉速度の調整	P.8
7. 裏板の取付け(カバーを使用する場合)	P.6	15. カバーの取付け(使用する場合)	P.8
8. ガイドローラーの取付け	P.6		

正しく安全に取り付けていただくために

図記号の意味

警告 注意	禁止	厳守
-----------------	-----------	-----------

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

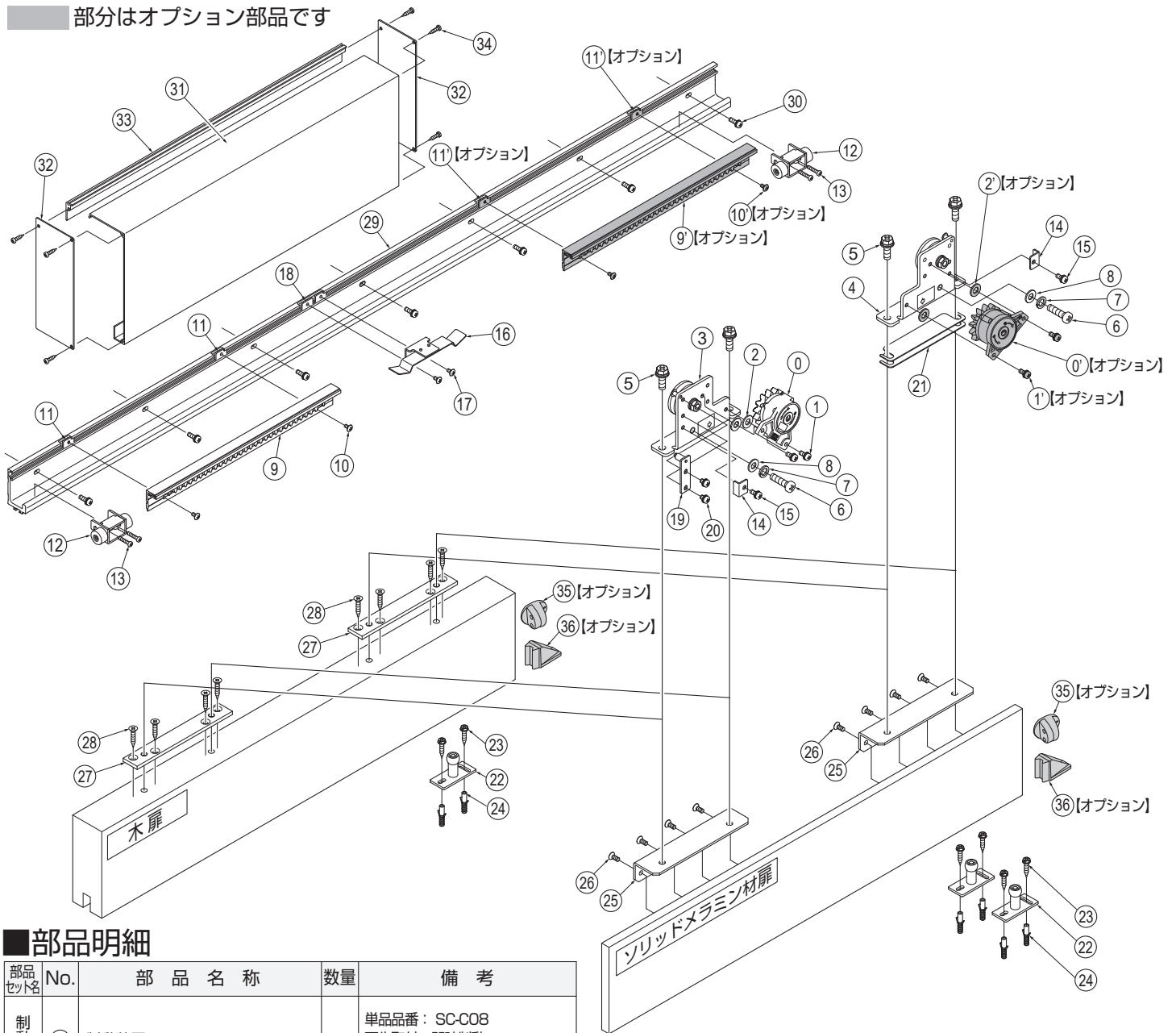
注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずが上レールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起をしてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。
- ❗ 本機器はブレーキが利かなくなると扉が勢いよく閉まり、扉に指をはさんだりするなどの事故の危険があります。部品の故障や破損等により、速度調整をしてもブレーキが利かなくなった場合、速やかに機器を取り替えてください。
- ⊘ 扉は自閉します。無理に扉を速く閉めないでください。扉が勢いよく閉まり、事故を引き起こすおそれがあります。
- ❗ 扉を縦枠に当てない仕様では、扉の脱落を防ぐため、戸当りを取り付けてください。
- ❗ 取付作業は2人以上で行ってください（1人の場合、部材を損傷してしまうおそれがあります）。

部品一覧

部品は右開き、左開き兼用です。本図は右開きを示します。

部分はオプション部品です

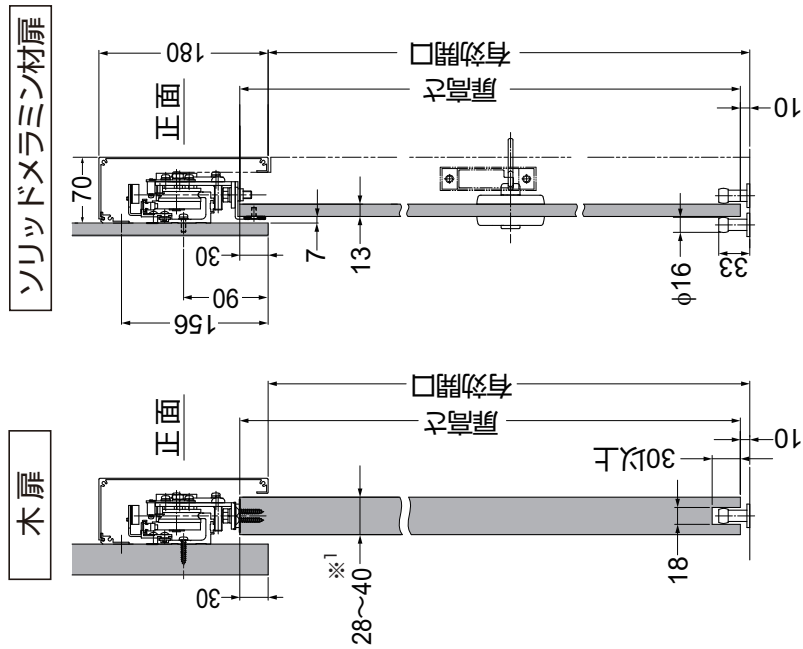
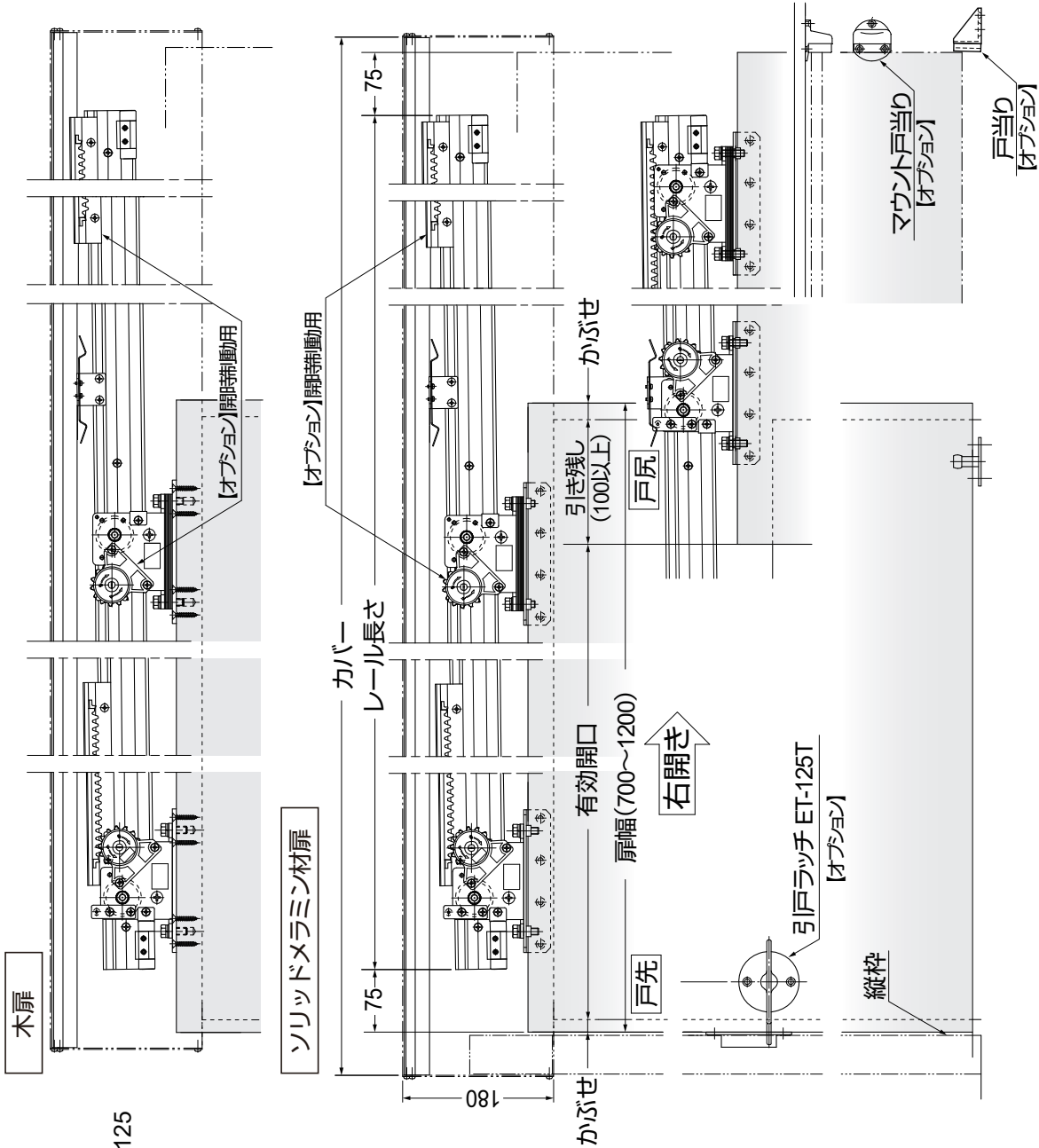
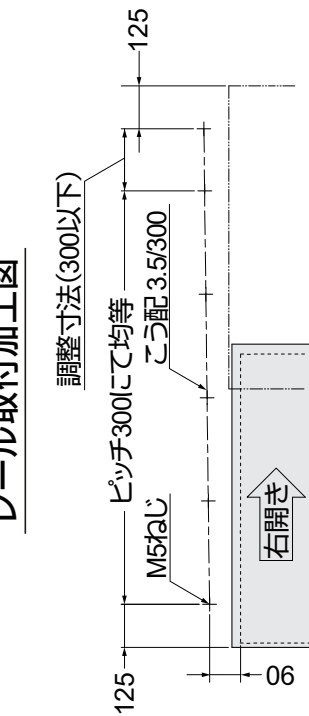


部品明細

部品セット名	No.	部品名称	数量	備考
制動装置セット	①	制動装置	1	単品品番：SC-C08 戸先取付：閉時制動 戸尻取付：開時制動【オプション】 ※必ず扉吊込後に取り付けてください。 吊り込みの際、レール等にぶつけて破損するおそれがあります。
	①	座金組込 十字穴付なべ小ねじ M5×14	2	
	②	平座金 M5×D10×t1.6	2	
ハンガーセット	③	ハンガーA	1	
	④	ハンガーB	1	
	⑤	座金組込 六角ボルト M8×25	2	戸先側ハンガー用
	⑤	座金組込 六角ボルト M8×30	2	戸尻側ハンガー用
	⑥	十字穴付 なべ小ねじ M8×30	2	扉脱落防止ねじ
	⑦	ばね座金 8	2	扉脱落防止ねじ用
	⑧	平座金 8	2	扉脱落防止ねじ用
	⑨	制動ラック	1	単品品番：SC-C07
制動ラック	⑩	十字穴付トラス小ねじ M4×8	2	戸先取付：閉時制動
	⑪	プレートナット	2	戸尻取付：開時制動【オプション】
戸当りセット	⑫	戸当り金具	2	
	⑬	十字穴付 なべタッピンねじ 5×16	4	戸当り固定補強用
	⑭	戸当り受け板	2	
	⑮	座金組込 十字穴付なべ小ねじ M5×8	2	
	⑯	板ばね	1	
全開ストップ装置	⑰	十字穴付 トラス小ねじ M4×8	2	板ばね [ⓐ] 取付用
	⑱	プレートナット	2	板ばね [ⓐ] 取付用
	⑲	ストッパーローラー	1	
	⑳	座金組込 十字穴付なべ小ねじ M5×8	2	

部品セット名	No.	部品名称	数量	備考
高さ調整板セット	⑳	高さ調整板 (t = 1)	15	
	㉑	高さ調整板 (t = 0.5)	1	
ガイドローラーセット	㉒	ガイドローラー φ16	2	
	㉓	フランジ付 六角タッピンねじ 5×25	4	床面が木またはプラグ [ⓐ] を使用する場合
	㉔	座金組込 六角ボルト M5×12	4	床面がスチールの場合
	㉔	プラグ 6×30	4	床面がコンクリートまたはモルタルの場合
ハンガーセット	㉕	ハンガーアングル	2	ソリッドメラミン材扉用
	㉖	六角穴付 皿ボルト M5×12	8	ソリッドメラミン材扉用
	㉗	木製扉用板	2	木扉用
	㉘	十字穴付 皿タッピンねじ 5×30	8	木扉用
	㉙	上レール (L = 2200)	1	
	㉚	座金組込十字穴付 なべ小ねじ M5×16	8	上レール取付面がソリッドメラミン材の場合
	㉚	十字穴付 トラスタッピンねじ 5×30	8	上レール取付面が木の場合
	㉛	カバー (L = 2350)	1	
㉜	サイドカバー	2		
㉝	裏板 (L = 2350)	1		
㉞	十字穴付 なべタッピンねじ 4×12	6		
㉟	マウント戸当り		単品品番：162-811、【オプション】 扉を縦材に当てない仕様の場合 [ⓐ] と併用 付属ねじ：十字穴付皿木ねじ 4.1×32	
㊱	戸当り (床付用)		単品品番：20773、【オプション】 [ⓐ] が使用できない場合に使用	

レール取付加工図



※1 扉厚が32 mmを超える場合、扉がカバーに擦るため、別途幕板をご用意ください。

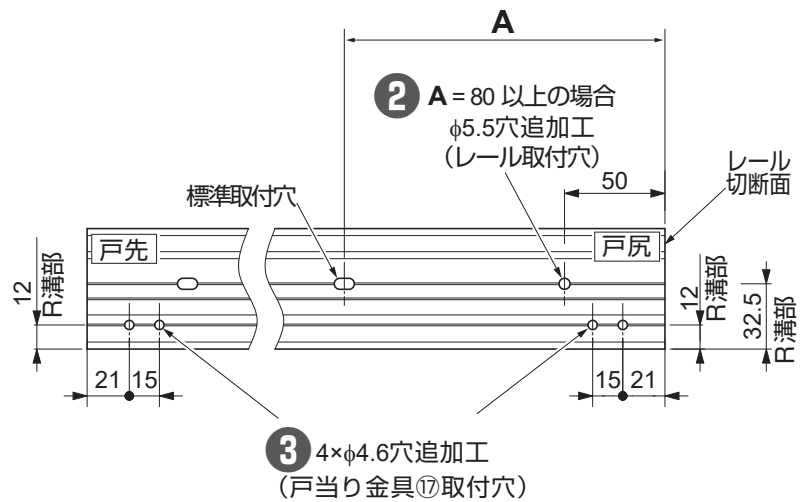
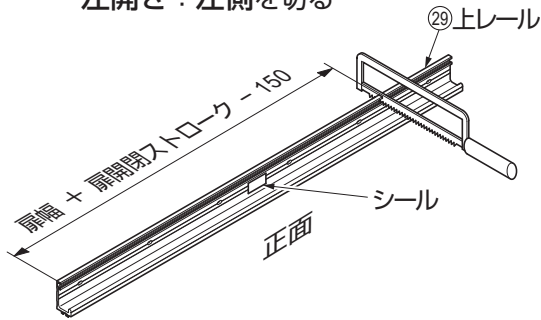
1 上レールの切断・取付穴の追加工

注意

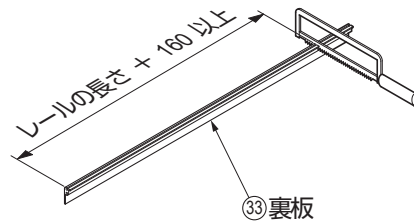
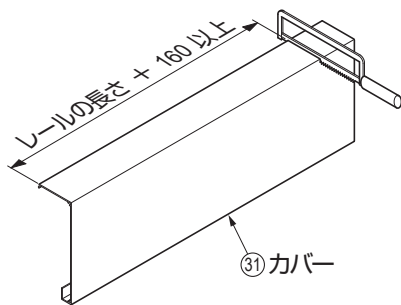
- レール加工時、走行面を傷付けないでください。



- 切断方向はシール側(正面)から見て
右開き：右側を切る
左開き：左側を切る



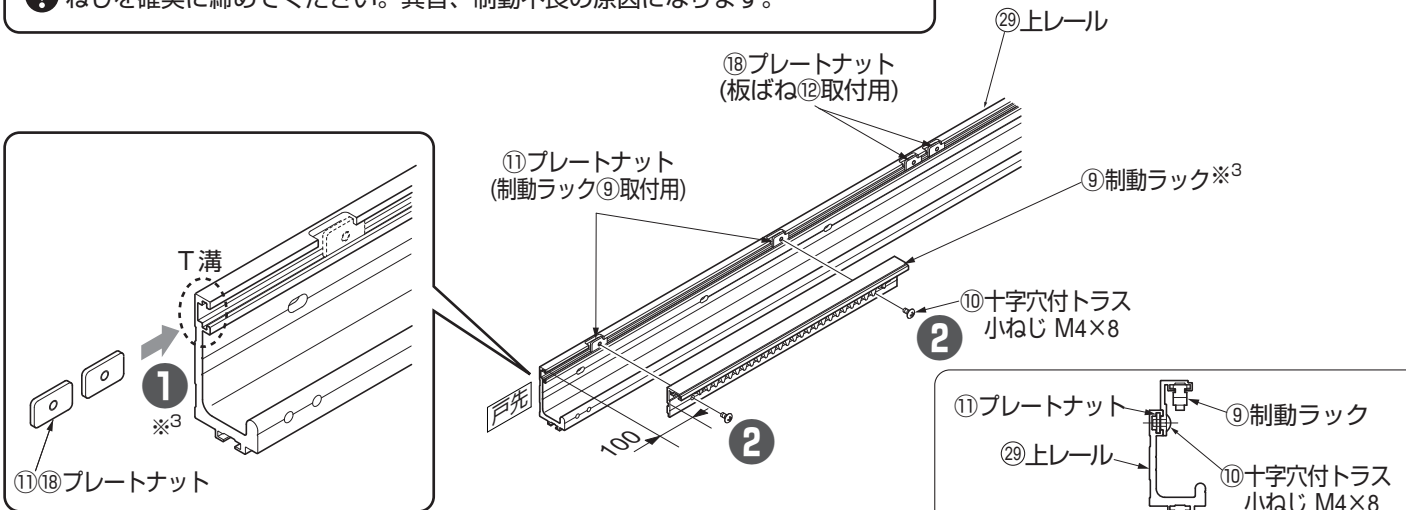
2 カバーと裏板の切断 (使用する場合)



3 プレートナットの挿入、制動ラックの取付け

注意

- 付属ねじを使用してください。制動装置のクラッチギヤに当たるおそれがあります。
- ねじを確実に締めてください。異音、制動不良の原因になります。

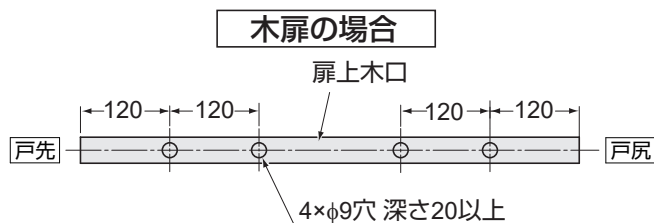
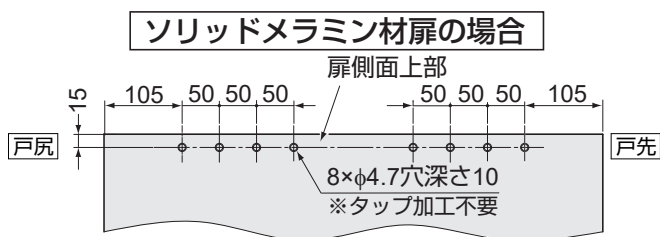


※3 扉が開く時にも制動をかけたい場合は、オプションの制動ラックセットを戸尻側に取り付ける。

以下の説明は右開きを示します。左開きはこの説明と対称となります。

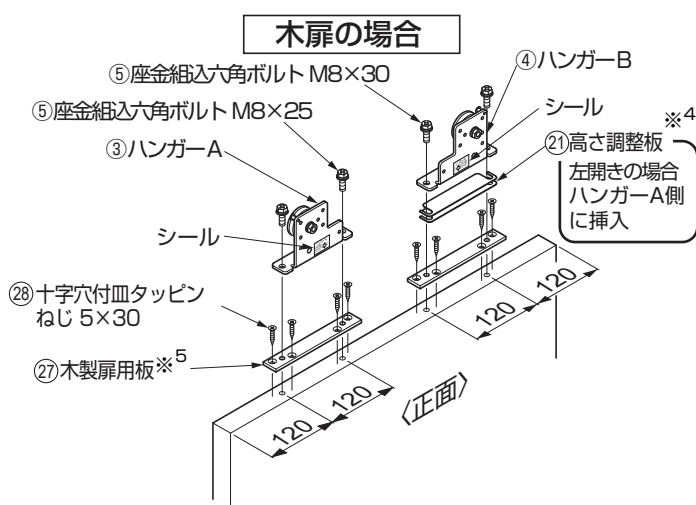
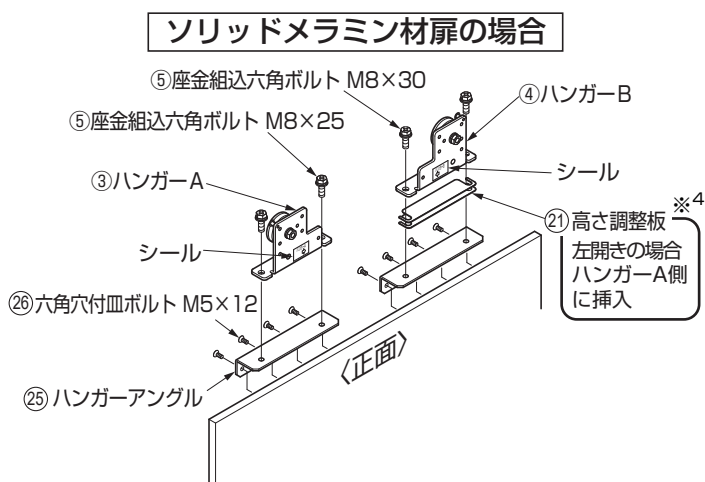
4 ハンガーの取付け

[1] 扉への穴加工



[2] 扉への取付け

ハンガーに貼られたシールが正面を向くように取り付ける（右開き・左開き共通）。



※⁴ 高さ調整板の使用枚数は扉幅により異なります。

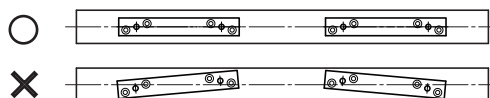
高さ調整板使用枚数（参考）

扉幅 (mm)	使用枚数
700 ~ 800 以下	6 枚
800 ~ 900 以下	7 枚
900 ~ 1000 以下	8 枚
1000 ~ 1100 以下	9 枚
1100 ~ 1200 以下	10 枚

※⁵

注意

❗ 木製扉用板②⑦は扉の中心線に取り付けてください。



5 上レール取付面への穴加工

注意

❗ 上レール取付面は、扉質量や扉開閉時の衝撃に耐えられる強度であることを確認してください。

※⁶ 右図B寸法(300 mmピッチ最終穴位置から、全開時の戸尻位置までの寸法)が155 mm以上の場合、全開時の戸尻位置から125 mmの位置に下穴加工をする。

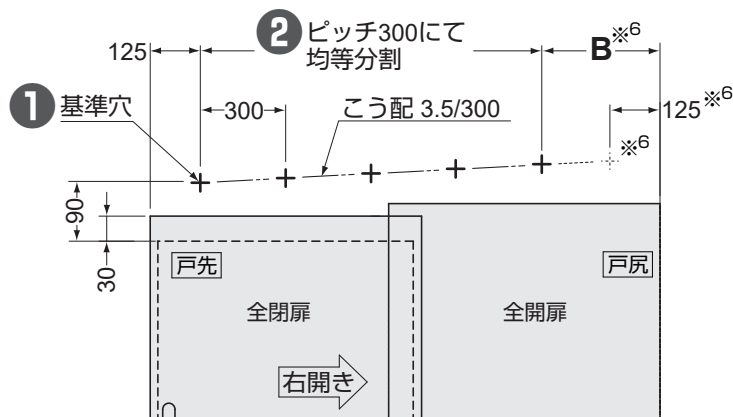
基準穴からの穴数 (基準穴を除く)	基準穴からの 水平距離 (mm)	基準穴との高低差 (mm)
1ヶ	300	3.5
2ヶ	600	7.0
3ヶ	900	10.5
4ヶ	1200	14.0
5ヶ	1500	17.5
6ヶ	1800	21.0
7ヶ	2100	24.5

1 基準穴の下穴加工をする。

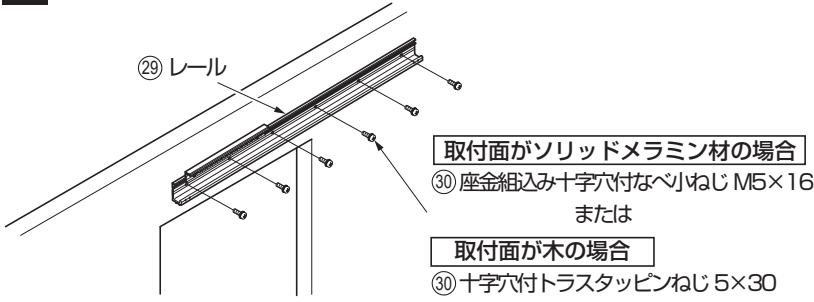
取付面がソリッドメラミン材の場合
φ4.7穴 深さ10 (タップ加工不要)

取付面が木の場合
φ3.5穴 深さ26

2 以降の穴は、300 mm毎に高低差3.5 mmで下穴加工をする。

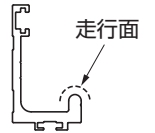


6 上レールの取付け



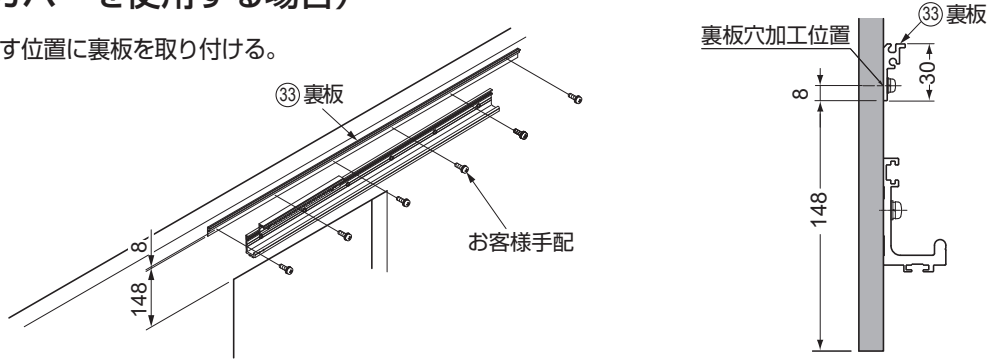
⚠ 注意

- ⚠ 取付後はレール走行面に傷やペンキ等が付かないよう、注意してください。



7 裏板の取付け (カバーを使用する場合)

裏板に取付穴をあけ、右図の示す位置に裏板を取り付ける。



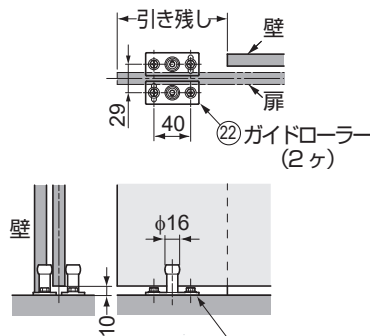
8 ガイドローラーの取付け

⚠ 注意

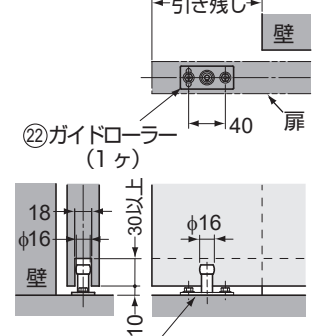
- ⚠ ガイドローラー②を必ず使用してください。

- ・扉の引き残し部に取り付ける。
- ・扉が床面と垂直になるように取り付ける。
- ・床面がコンクリート、モルタル等の場合は、付属のプラグを使用して取り付ける (ドリル径φ6)。

ソリッドメラミン材扉の場合



木扉の場合



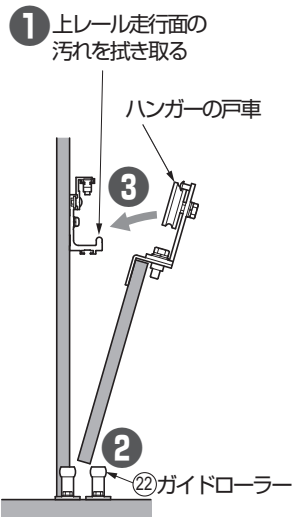
床面が… 木またはプラグを使用する場合：②③ フランジ付六角タッピンねじ 5×25
スチールの場合：②③ 座金組込み六角ボルト M5×12

9 扉の吊込み

⚠ 注意

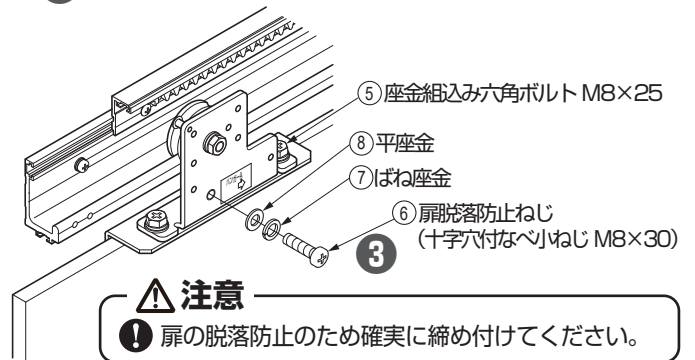
- ⚠ 吊り込みの際は、制動ラック、レール走行面に傷を付けないように注意してください。

- ⚠ 制動装置は、吊込後に取り付けてください。吊り込みの際、レール等にぶつけて破損するおそれがあります。



10 脱落防止ねじの取付け

- 1 扉がスムーズに開閉できることを確認する。
- 2 扉の縦枠のすき間を調整する (ハンガーを取り付けている座金組込六角ボルト M8×25⑤をゆるめ、高さ調整板②を抜き差しする)。
- 3 ハンガー A、B へ脱落防止ねじを取り付ける。

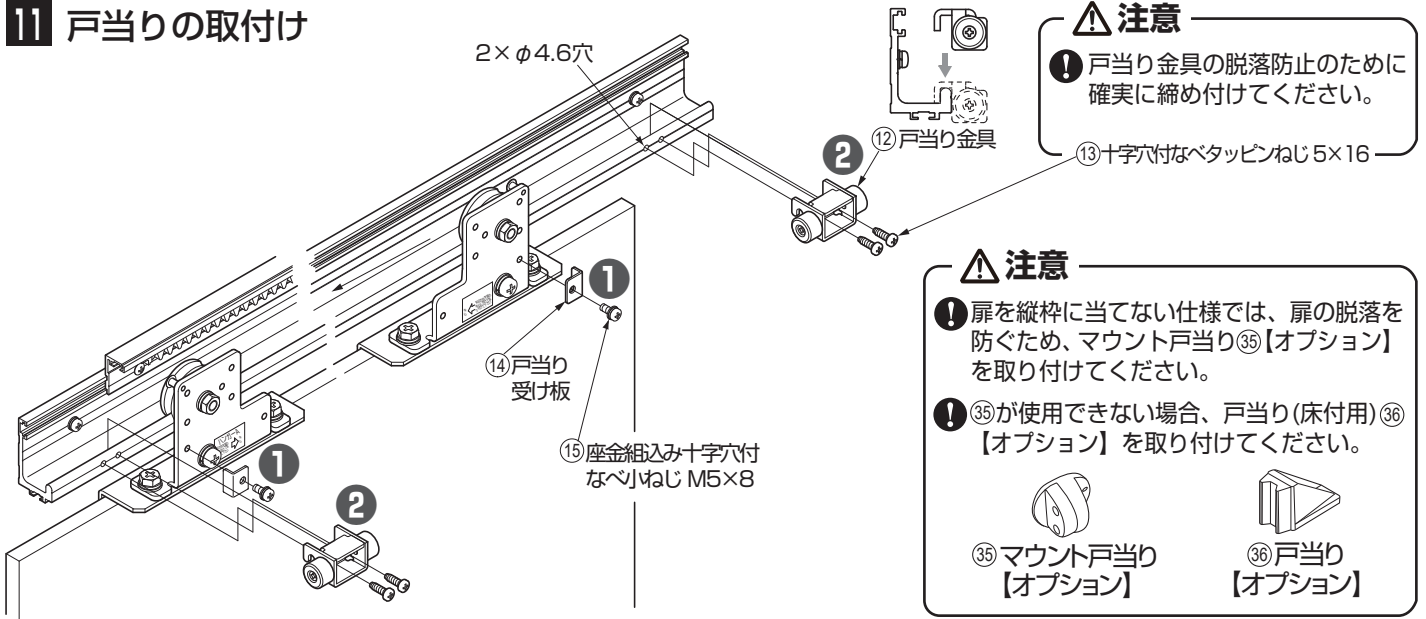


⚠ 注意

- ⚠ 扉の脱落防止のため確実に締め付けてください。

以下の説明は右開きを示します。左開きはこの説明と対称となります。

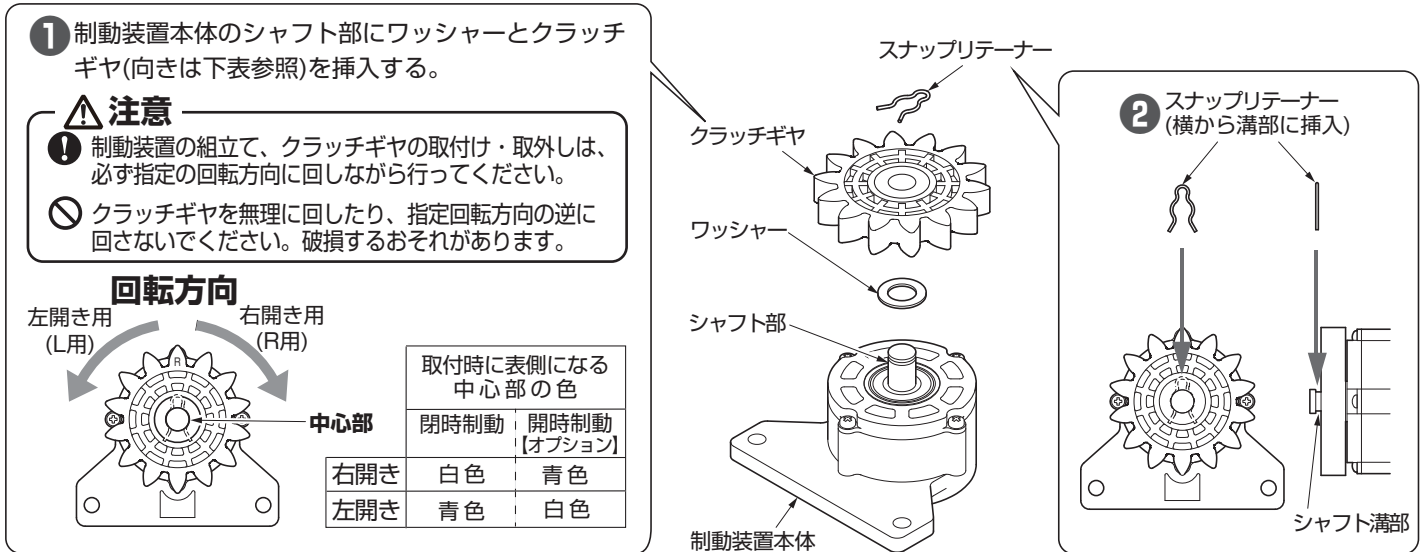
11 戸当りの取付け



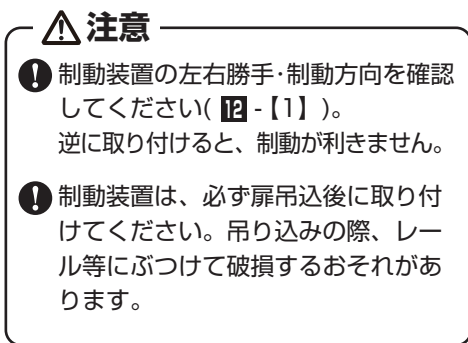
12 制動装置の取付け

【1】 制動装置の組立て

制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤの組み方向により、左右勝手に対応させます。クラッチギヤ部を外す手順は、取付手順の逆です。

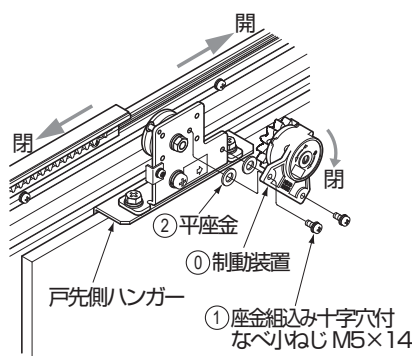


【2】 ハンガーへの取付け



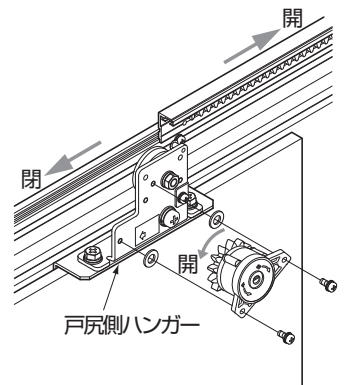
閉時制動

制動ラックと噛み合わない位置(扉を600 mm以上開いた状態)で取り付ける。



開時制動【オプション】

制動ラックと噛み合わない位置(扉を閉じた状態)で取り付ける。

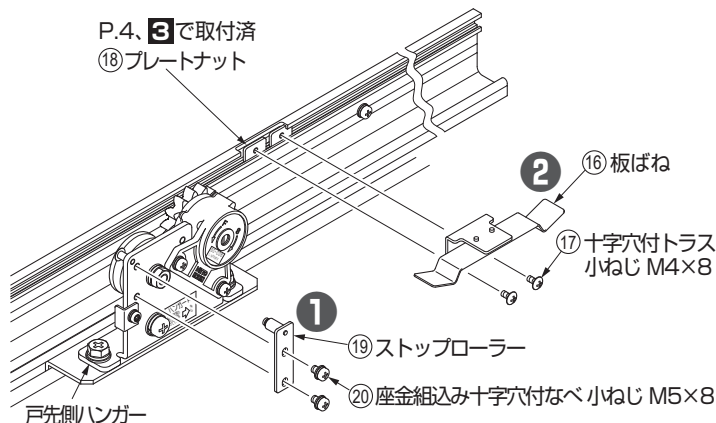


13 全開時キャッチの取付け

【1】 ストップローラー、板ばねの取付け

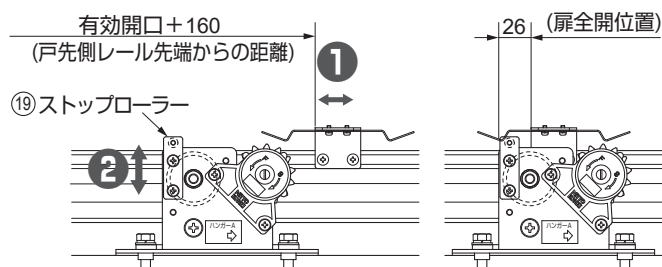
⚠ 注意

- 指定の付属ねじを使用してください。他の部品と接触するおそれがあります。



【2】 キャッチ位置、キャッチ力の調整

- 扉全開位置でキャッチするよう、板ばねの位置を調整する。
下図の寸法を目安とし、レールにマークをつけて位置を決める。
- ストップローラーの位置を上下させ、キャッチ力を調整する。
強くする：ストップローラーを上げる
弱くする：ストップローラーを下げる



【3】 ストップローラー、板ばねの固定

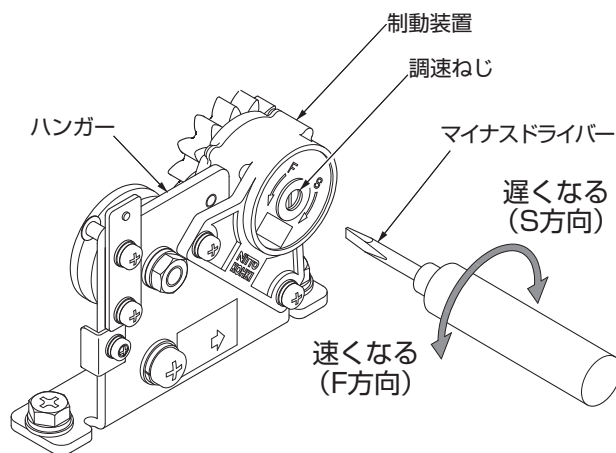
14 開閉速度の調整

⚠ 注意

- 調速ねじは軽い力で回し、突き当たった後はそれ以上回さないでください。
- 閉じ速度は、周囲温度の変化により多少変化します。温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

制動装置の調速ねじをマイナスドライバーで回して調整します。

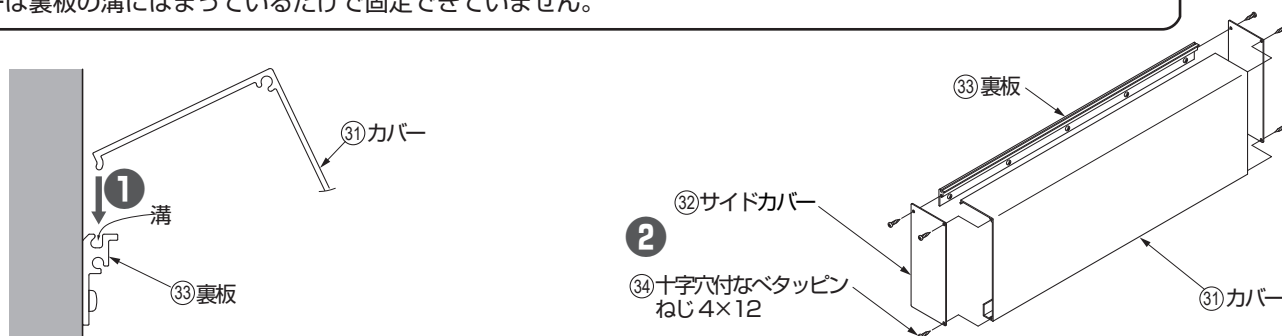
- 閉じ速度の調整…全開位置から自動閉止させ、閉じ速度が
早いと感じる場合：S方向に回す
遅いと感じる場合：F方向に回す
- 開き速度の調整…閉じ速度の調整と同様



15 カバーの取付け (使用する場合)

⚠ 注意

- 扉厚が32mmを超える場合、扉がカバーに擦るため、別途幕板をご用意ください。その場合、メンテナンスの為、取り外し可能な構造にしてください。
- サイドカバーは必ず付属ねじで取り付けてください。カバーが落下しけがの原因になるおそれがあります。
- サイドカバーを付属ねじで固定できない場合、必ずLアングルなどでカバーが落下しないように固定してください。カバーは裏板の溝にはまっているだけで固定できていません。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
https://www.sugatsune.co.jp/ 2021.01 0188-8